

第5学年国語科学習指導案

単元名 詩を味わおう

教材名 「ねぎぼうず」 みずか みかずよ 作 (光村図書 小学校5年下)
「ケムシ・ 」 まど・みちお 作
「耳」 ジャン・コクトー 作
「蝶」 ジュール・ルナール 作 他

1 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は、これまでに、叙述に即して文章や言葉に着目しながら場面の様子や登場人物の心情を読み取っていく学習を経験している。4月には、詩の学習において、心情や情景が聞き手に伝わるように音読の工夫をすることができた。物語文の読解においても、描かれている心情や情景を叙述に沿って読み取る学習を積み重ね、優れた叙述や主題について、自分の中で思いをまとめることができるようになってきた。表現や美しさを感じる語句をとらえ、根拠を示して自分の考えを述べるようになってきた。しかし、毎日書く日記には、その日の出来事だけを書き並べる児童が多く、日常生活の中でものごとをよく見つめ、感じたことを工夫しながら表現する児童は少ない。

(2) 教材観

本教材は、「ねぎぼうず(みずかみかずよ作)」「ケムシ・ (まど・みちお)」「耳(ジャン・コクトー)」「蝶(ジュール・ルナール)」の4つの詩を掲げている。どの詩も短い詩ではあるが、味わい深い作品であり、1行や2行で言い表そうとしていることを想像豊かに読み取らせることができる。また、詩の題と本文が一体となった短詩で、比喩、連想などの表現の面白さを味わい楽しませることができる。これらの4編の短詩を楽しみ、味わったことをきっかけにして、4人の作者の他の詩や他の作者の詩にふれ、様々な短詩を味わわせることもできる。さらに、読み取った比喩や連想の表現を模倣して、児童自身が比喩や連想を生かした詩を創作させるなど、表現活動を楽しませることもできる。

このように詩の様々な表現の工夫に気付いたり、自分の表現に生かしたりすることは、中学校第1学年における〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の「比喩や反復などの表現の技法について理解すること」につながっていくと考える。

(3) 指導観

本単元では、短詩について知り、比喩、連想などの表現の工夫に注意して、描かれた事柄を想像して味わい、自分の表現に活用して短詩を創作することを目標にしている。単元は、学習指導要領(平成20年8月)における指導事項「C読むこと」(1)エの「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること」を受けて設定している。「優れた叙述に着目して自分の考えをまとめる」とは、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容などに気付かせ、感想をまとめたり、自分の表現に生かしたりすることができるようになることをねらっている。本単元では、まず、比喩表現を用いた短詩を読み、言葉のなぞ解きすることを通して、詩に凝縮されたメッセージや暗示などを読み取らせる。児童は、作者が使う比喩や反復などの表現の豊かさに、はっとするのであろう。読み取った情景や解釈が表現に表われるように音読を工夫させ、交流させることを通して、一人一人の感じ方の違いにも気付かせたい。次に、読み取った基本的な詩の技巧を生かして、詩の創作に取り組ませる。自分の身の回りにある事物へ目や耳を働かせ、何気なく通り過ぎている日常や、自分自身を振り返らせながら、比喩表現を工夫した詩の創作をさせる。その際、自分の考えを深めたり、豊かに表現したりできるように、お互いの表現を発表し合い、吟味させる活動を充実させていきたい。

2 単元の目標

比喩表現を用いた短詩について知り、その表現されている内容や効果を考えながら読むことができる。
身近なものを題材にした短詩を想像して書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	比喩，反復などの表現を楽しみ，想像して味わおうとする。
イ 書く能力	比喩，反復などの技法を用いて詩を書くことができる。 【書くこと(1)ア】
ウ 読む能力	比喩表現の叙述から想像を膨らませて，短詩に込められた思いを読み取り，工夫して音読することができる。 【読むこと(1)エ】
エ 言語についての 知識・理解・技能	比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。 【イ言葉の特徴やきまりに関する事項(ケ)】

4 指導と評価の計画（全3時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
一	1	学習のめあてと見通しをもつ。 「ねぎぼうず」「ケムシ・」の2編の詩を読み味わう。 他の作品を読み味わう。	<ul style="list-style-type: none"> 比喩表現を使った短詩を学習することを通して「詩の表現のおもしろさを見付ける」というめあてをもたせる。 詩の一部や題名を隠して提示し，あてはまる言葉を想像させる。 選んだ言葉や題名について，それを選んだ理由を話し合わせる。 詩から感じることを話し合わせ，表現のおもしろさを感じ取らせる。 短詩のおもしろさをまとめ，次時への見通しをもたせる。 	<p>ア 比喩，反復，なぞ解きなどの表現を楽しみ，想像して味わおうとする。〔行動観察〕</p> <p>エ 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。〔発言及びワークシート〕</p>
	2	「耳」「蝶」の2編の詩を読み味わう。 詩を工夫して音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 詩の一部や題名を隠して提示し，当てはまる言葉を想像させる。 たとえの表現はどれか，なぜ，このような表現にしたのかを話し合わせて作品のよさを味わわせる。 音読の工夫を考えさせ，互いに聞き合う場を設定し，詩の表現を味わわせるとともに，一人一人の表現の違いに気付かせる。 	ウ 比喩表現の叙述から想像を膨らませて，短詩に込められた思いを読み取り，工夫して音読することができる。〔発言及びワークシート〕
二	3	学習のめあてを確認し，創作への意欲をもつ。 「みかん」の短詩を例に，メモの書き方や表現の仕方を考える。 持参した野菜や果物を題材にしてメモを書き，短詩を創作する。 作品の感想を交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 特徴をとらえた短詩の題名を想像させ，創作への意欲をもたせる みかんの実物を用意し，色や形ばかりでなくにおいや感触，皮をむいた形とひとふさの形など，様々な視点から特徴をとらえさせ，比喩表現を考えさせて，メモに書かせる。 草野心平作「みかん」を例に，詩の基本的な特徴である改行形式，繰り返しのリズム，比喩表現などの詩の表現を押さえる。 比喩や反復などの技法を用い，メモの言葉を吟味させながら，短詩を創作させる。 創作した詩を読み合わせ，感想を交流させる。 	イ 比喩や反復などの技法を用いて短詩を書くことができる。〔発言及びワークシート〕

5 本時の計画 (3 / 3)

(1) 指導目標

比喩, 反復などの技法を用いて詩を書くことができるようにする。

(2) 展開

学習活動	指導上の留意点及び評価
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>野菜や果物の持ちょうをたどって, 短詩を書こう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>りんご 丸くてつるつる赤い太陽 もうすぐ落ちそうな赤い太陽</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>すいか 緑と黒のおしゃれ着 心の中も, 真っ赤な情熱家</p> </div> <p>2 詩「みかん」を例に, メモの書き方や詩の表現の仕方を考える。</p> <p>(1) みかんを例に, 形や色などの特徴や, 特徴からイメージするものを言葉で表現してメモに書く。</p> <p>(2) メモに集めた言葉を使って, 詩を創作する方法を考える。</p> <p>3 メモに言葉を集め, 短詩を創作する。</p> <p>(1) 持参した野菜や果物の特徴や, 特徴からイメージするものを言葉で表現してメモに書く。</p> <p>(2) メモの中から短詩に生かしたい表現を選ぶ。</p> <p>(3) 比喩や反復の表現などを生かして, 言葉を吟味しながら短詩を創作する。</p> <p>4 創作した短詩を鑑賞する</p> <p>(1) ペアで詩の感想を交流する。</p> <p>(2) 全体でみんなの詩を鑑賞する。</p> <p>5 短詩を作って学習をしたことをまとめ, 詩を作った感想を述べ合う。</p>	<p>短詩の本文を紹介し, たとえの言葉をヒントに題名を想像させる。創作への意欲や出来上がりのイメージをもたせて, 野菜や果物を題材に, 比喩表現を用いながら詩を創作することを確認する。</p> <p>みかんの実物を用意し, 色や形ばかりでなく, においや感触, 皮をむいた形とひとふさの形など, 様々な視点から比喩表現を考えさせ, 発見メモに書かせる。</p> <p>草野心平作の「みかん」という詩を例に, 詩の基本的な表現の特徴である改行形式, 繰り返しのリズム, 比喩表現などを押さえる。</p> <p>「みかん」のメモを参考にさせながら, 野菜や果物の特徴をよく見て, たとえの表現を発見メモに書かせる。</p> <p>メモの中から, 短詩に生かしたい表現を選ばせ, 「みかん」で押さえた比喩表現, 繰り返しのリズム, 改行などを生かして, 凝縮した表現を工夫させる。</p> <p>ペアで伝え合い, 比喩表現のよさや音読表現のよさについて感想を交流させる。</p> <p>友だちの詩が何をたどって表現しているのか題名を考えさせたり, 表現のよさを鑑賞させたりする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【評価】 比喩表現を理解し, 表現に生かしながら短詩を書いている。 〔発言・ワークシート〕</p> </div> <p>学習のまとめをするとともに, 比喩表現が様々であることに気付かせ, 表現のおもしろさを味わわせる。</p>